

電話番号の緊急優先設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ユーザエクスペリエンス](#)

[コールシナリオ](#)

[シナリオ1](#)

[シナリオ2](#)

[短縮ダイヤルパラメータ \(SP \) とのインタラクション](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、電話番号 (DN) に関する緊急優先順位の設定機能について説明します。この機能を使用することで、管理者は T302 タイマーの遅延を回避できます。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は Cisco Unified Communications Manager (CUCM) バージョン 10 に関する知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

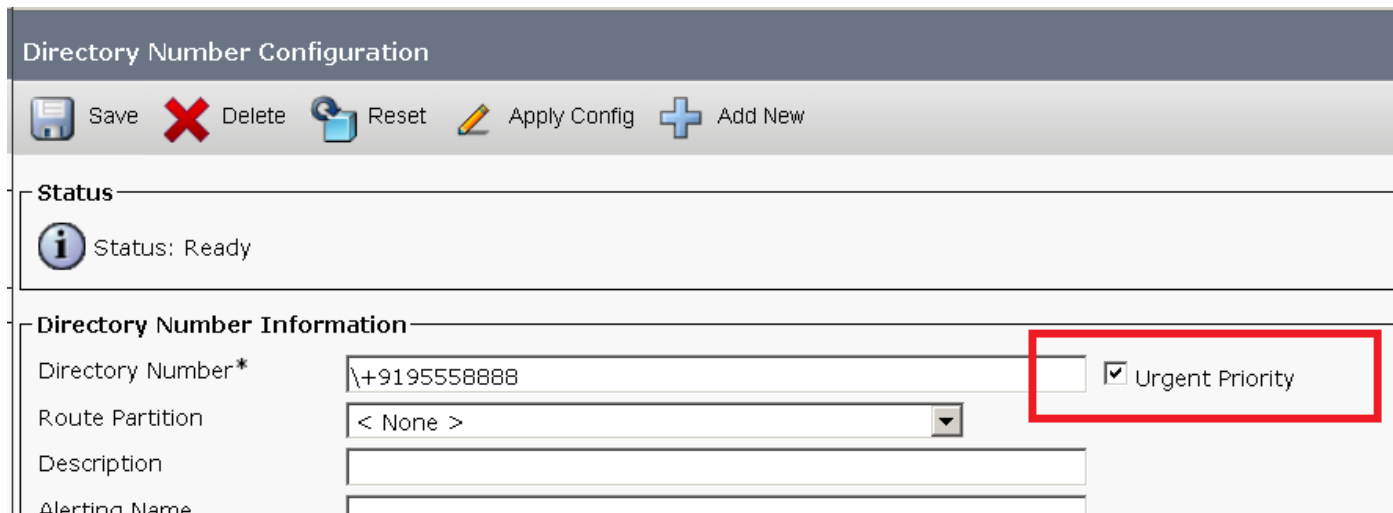
背景説明

CUCM バージョン 9 まで、発信者が完全修飾 DN をダイヤルした場合でも、T302 タイマーを起動し、T302 タイマーが期限切れになるまでユーザがさらに番号をダイヤルするのを待機する必要がありました。

現在、管理者は、T302 タイマーの遅延を回避するために、DN を緊急のパターンとして設定できるようになりました。完全修飾 DN がダイヤルされ、オーバーラップ パターンがシステムに存在する場合、それが T302 タイマーを起動して、タイマーが期限切れになるまでユーザがさらに番号をダイヤルするのを待機します。

設定

設定するには、次の画像に示すように [Urgent Priority] チェックボックスをオンにします。



The screenshot shows the 'Directory Number Configuration' interface. At the top, there are buttons for 'Save', 'Delete', 'Reset', 'Apply Config', and 'Add New'. Below this is a 'Status' section with an information icon and the text 'Status: Ready'. The main section is 'Directory Number Information', which contains several input fields: 'Directory Number*' with the value '\+9195558888', 'Route Partition' with a dropdown menu showing '< None >', 'Description', and 'Alerting Name'. A red rectangular box highlights the 'Urgent Priority' checkbox, which is checked.

ユーザ エクスペリエンス

[Directory Number Configuration] ページで [Urgent Priority] が有効な場合、コールは番号間タイムアウトまで待たずに、瞬時に完全修飾 DN にルーティングされます。[Urgent Priority] チェックボックスが無効になっており、オーバーラップ パターンが設定されている場合、CUCM はユーザがさらに番号をダイヤルするのを待機します。

- 10.0 CUCM リリース以前は、CUCM システムでオーバーラップ パターンが設定されていた場合、コールがダイヤルされた電話番号にルーティングされる前に、ユーザは T302 (番号間タイマー) を監視する必要がありました。これは、ダイヤルされた番号に対して電話番号のパターンがぴったり一致した場合であっても発生しました。電話番号に対して [Urgent Priority] オプションが設定されていない場合、ダイヤル プラン内にオーバーラップ パターンが含まれていると、電話番号をダイヤルした後にダイヤル後の遅延が見られました。
- この機能は、ダイヤル プラン内にオーバーラップ パターンが含まれている場合であっても、照合される電話番号に関して、瞬時に (T302 タイマーが開始せずに) コール ルーティングの決定を強制します。

コール シナリオ

- E.164 形式で設定される内線電話番号のような、グローバル化されたダイヤル プランを設定しています。
- 内線 DN と同じコーリング サーチ スペースによって 海外の宛先にダイヤルするために、緊急でないルート パターン \+! も用意されています。
- このような場合、海外の宛先のルート パターンが、ダイヤルされた番号にも潜在的に一致す

るため、内線 DN が E.164 形式で番号ごとにダイヤルされるたびに、CUCM は、番号間タイマーを開始します。CUCM は、番号間タイマーが期限切れになって初めて、そのコールを DN にルーティングします。

- 番号間タイマーの値は、T302 が [Clusterwide Parameters (Device - General)] セクションに表示するサービスパラメータで指定されます（デフォルト値 = 15 秒）。

シナリオ 1

トランスレーションパターン (TP) (たとえば 666X) を設定しました。この時、着信側の変換マスクは 7770 に設定しています。

[Urgent Priority] を有効にした状態で DN (7770) を設定しました。
オーバーラップルートパターン (RP) (たとえば 777XX) を設定しました。
新しいコールを押してから、番号をダイヤルします。
コールがルーティングされ、番号間タイムアウトまで待機する必要はありません。

シナリオ 2

[Urgent Priority] を有効にした状態で、DN (たとえば 919555888899) を設定しました。
[Urgent Priority] を有効にした状態で、オーバーラップトランスレーションパターン (たとえば 91XXX XXXX XXX) を設定しました。

新しいコールを押してから、番号をダイヤルします。
コールがルーティングされ、番号間タイムアウトまで待機する必要はありません。

短縮ダイヤルパラメータ (SP) とのインタラクション

- 短縮ダイヤル (特定の宛先番号で設定) を押すと、CUCM は設定されすぐに有効な宛先にコールをルーティングします。
- サービスパラメータ Speed Dial Await Further Digits が true で、短縮ダイヤル番号に、最適な一致とは別に、さらに潜在的な一致が存在する場合、ユーザが手動で追加の番号をダイヤルできるように、CUCM は番号間タイムアウトを待機します。
- しかしながら、このサービスパラメータが true で、パターン (最適な一致) が緊急にマークされている場合、CUCM は番号間タイマーの期限が切れるまで待機せず、コールを宛先にルーティングします。
- たとえば、CUCM システムが次のパターンを持っている場合などです。
 - \+ 19195558888 (緊急でない DN) \+! ((国際電話用の緊急でないルートパターン) SP = 本当および +19195558888 が速度ダイヤルで設定されればおよび速度ダイヤル見つかれば、CUCM はユーザが追加数字ことを可能にするように内側ディジットタイムアウトを待ち、追加ディジットがダイヤルされる場合コールはルートパターンを使用してルーティングされるただし、DB が緊急にマークされている場合、CUCM は番号間タイマーを開始せずにすぐに DN にコールをルーティングします。

例 :

短縮ダイヤル番号+8536247900
次の 2 つのパターンを設定する :

1. +8536247900

2. +85! [緊急でない]

- SP Await Further Digits を true に設定し、+8536247900 を Non urgent にします。短縮ダイヤル +8536247900。番号間タイマーの期限が切れると、コールはパターン +8536247900 にルーティングされます。
- SP Await Further Digits を true に設定し、+8536247900 を Urgent にします。短縮ダイヤル +8536247900。コールがパターン +8536247900 にルーティングされ、番号間タイムアウトまで待機する必要はありません。
- SP Await Further Digits を false に設定し、+8536247900 を Non urgent にします。短縮ダイヤル +8536247900。コールがパターン +8536247900 にルーティングされ、番号間タイムアウトまで待機する必要はありません。
- SP Await Further Digits を false に設定し、+8536247900 を Urgent にします。短縮ダイヤル +8536247900。コールがパターン +8536247900 にルーティングされ、番号間タイムアウトまで待機する必要はありません。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。